

1 就 学 (入学)

就学とは、義務教育諸学校に入学することをいう。

保護者は、その保護する子を義務教育諸学校に就学させる義務を負っており、その義務を履行しなければならない。

公立義務教育諸学校への入学手続については、主として教育委員会が行うことになっており、一般的には入学許可のような手続はない。

(1) 市町教育委員会が処理すべき就学事務

- ア 学齢簿の編製
- イ 就学時健康診断（翌年就学予定者の学齢簿作成）
- ウ 県教育委員会への視覚障害者等の報告及び学齢簿謄本の送付
- エ 保護者への入学期日の通知
- オ 保護者への学校の指定
- カ 学校の統廃合等、就学させるべき学校を変更する必要がある児童・生徒の保護者への入学期日の通知及び学校の指定
- キ 入学先の学校長への児童・生徒の氏名及び入学期日の通知
- ク 就学義務の猶予、免除
- ケ 区域外就学関係
- コ 就学の督促

(2) 校長が処理すべき就学事務

- ア 出席状況の把握
- イ 指導要録の作成保管
- ウ 出席簿の作成
- エ 市町教育委員会への出席不良者の報告

日本国憲法 第26条

教育基本法 第5条

学校教育法施行令
第5条

学校教育法施行令
第1, 2, 3条

学校保健安全法
第11条

学校教育法施行令
第11条_2

学校教育法施行令
第5条_1, 2

学校教育法施行令
第6, 7条

学校教育法 第18条

学校教育法施行令
第9, 17条

学校教育法施行令
第21条

学校教育法施行令
第19条

学校教育法施行規則
第24, 25条

学校教育法施行令
第20条

2 転 学 (転出・転入学)

転学とは、児童・生徒が同種の他学校の相当学年に移ることをいう。

公立義務教育諸学校における転学の場合は、入学の場合と同じく当該児童・生徒の住所地の教育委員会が転入学すべき学校を指定する。

(1) 保護者が行う手続

- ア 市町へ転出届を提出する。
- イ 現在の学校へ連絡する。
(在学証明書、教科用図書給与証明書を受け取る)
- ウ 新住所の市町へ転入届を提出する。(転入後14日以内)
- エ 転入先学校長に在学証明書、教科用図書給与証明書を提出する。

(2) 市町教育委員会が処理すべき事務

新住所地の市町長は、転入届のあった旨を速やかに教育委員会に通知する。

ア 転入の場合

- (ア) 学齢簿の加除訂正

住民基本台帳法
第22, 23, 24条

学校教育法施行令
第4条

学校教育法施行令
第3条

<p>(イ) 保護者に対する入学期日の通知及び学校の指定</p> <p>(ウ) 転入先の校長に対する転入児童・生徒の氏名及び入学期日の通知</p>	<p>学校教育法施行令 第5,7条</p>
<p>イ 転出の場合</p> <p>学齢簿の加除訂正</p>	<p>学校教育法施行令 第3条</p>
<p>ウ 小中学校から特別支援学校へ</p> <p>県教育委員会への視覚障害者等の報告及び学齢簿謄本の送付</p>	<p>学校教育法施行令 第11条_1,2</p>
<p>エ 特別支援学校から小中学校へ</p> <p>(2) ア転入の場合に同じ。</p>	
<p>(3) 県教育委員会が処理すべき事務</p>	
<p>ア 小中学校から特別支援学校へ</p> <p>(7) 保護者への入学期日の通知</p>	<p>学校教育法施行令 第14条_1,2</p>
<p>(イ) 保護者への学校の指定</p> <p>(ウ) 市町教育委員会及び校長への児童・生徒の氏名及び入学期日の通知</p>	<p>学校教育法施行令 第15条</p>
<p>(エ) 市町教育委員会への学校の通知</p> <p>イ 特別支援学校から小中学校へ</p>	
<p>市町教育委員会への児童・生徒の氏名及び事由の通知</p>	
<p>(4) 校長が行う手続</p>	
<p>ア 転入の場合</p>	
<p>(7) 市町教育委員会より転入の通知を受ける。</p>	
<p>(イ) 前在籍校の在学証明書、教科用図書給与証明書を受け取る。</p>	
<p>(ウ) 転入学児童・生徒名簿に記入する。</p>	
<p>(エ) 前在籍校へ転入学通知書を発送する。</p>	
<p>(オ) 前在籍校から指導要録の写、健康診断票等を受け取る。</p>	
<p>イ 転出の場合</p>	
<p>(7) 保護者より転出の申し出を受ける。</p>	
<p>(イ) 在学証明書、教科用図書給与証明書を保護者に交付する。</p>	
<p>(ウ) 転学児童・生徒名簿に記入する。</p>	
<p>(エ) 転入学通知書を受け取ったら、指導要録の写（転学してきた児童生徒については、既に送付を受けていた写の全部、就学前の園児の学習及び健康の状況を記録した書類の原本を含む）、健康診断票等を転出先学校長に送付する。</p>	<p>学校教育法施行規則 第24条_3</p>
<p>(オ) 市町教育委員会に報告する。</p>	
<p>ウ 小中学校から特別支援学校へ</p>	
<p>(7) 在学中の児童又は生徒で、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者（身体虚弱者を含む）になったものがあるときは、その児童又は生徒の住所のある市町教育委員会に報告する。</p>	<p>学校教育法施行令 第12条</p>
<p>(イ) 以下、(4)イ転出の場合に同じ。</p>	
<p>エ 特別支援学校から小中学校へ</p>	
<p>(7) 在学中の児童又は生徒で、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者（身体虚弱者を含む）でなくなったものがあるときは、</p>	<p>学校教育法施行令 第6条の2</p>

その児童又は生徒の住所のある都道府県教育委員会に報告する。

(4) 以下、(4)ア転入の場合に同じ。

3 編入学・退学

編入学とは、外国からの帰国子女、児童自立支援施設・少年院から移ってきた児童・生徒、正規の学校の学歴がない児童・生徒等が、第1学年の入学時以外に中途入学すること等をいう。

編入学に相当する事由のため学校を去ることを退学という。

4 区域外就学

区域外就学とは、児童・生徒等を、その住所のある市町の設置する以外の小中学校に就学させることをいう。また、児童・生徒等のうち視覚障害者等を、その住所のある都道府県の設置する以外の特別支援学校に就学させることをいう。

(1) 保護者が行う手続

ア 他の市町の公立小中学校に就学させる場合

(7) 就学させる市町教育委員会の承諾を受ける。

(4) (7) を証する書面を添え、住所のある市町教育委員会に届け出る。

イ その他の小中学校に就学させる場合(金大附属小中・県立金沢錦丘中・私立小中)

(7) 就学させる小中学校における就学を承諾する権限をもつ者の承諾を受ける。

(4) (7) を証する書面を添え、住所のある市町教育委員会に届け出る。

ウ 他の都道府県の公立特別支援学校に就学させる場合

(7) 就学させる都道府県教育委員会の承諾を受ける。

(4) (7) を証する書面を添え、住所のある都道府県教育委員会に届け出る。
(市町教育委員会経由)

エ その他の特別支援学校に就学させる場合

(7) 就学させる特別支援学校における就学を承諾する権限をもつ者の承諾を受ける。

(4) (7) を証する書面を添え、住所のある都道府県教育委員会に届け出る。
(市町教育委員会経由)

(2) 市町教育委員会が処理すべき区域外就学事務

ア 区域外就学者を受け入れる場合

(7) 就学の承諾を与える前に、児童・生徒の住所のある市町教育委員会と協議する。

(4) 学齢簿の加除訂正等、入学又は転入に同じ。

イ 区域外就学者を送り出す場合

学齢簿の加除訂正等、入学又は転入に同じ。

学校教育法施行令
第9条

学校教育法施行令
第17条

学校教育法施行令
第9条_2

(3) 校長が処理すべき区域外就学事務

ア 区域外就学者の受け入れ、送り出し

入学又は転学に同じ。

イ 区域外就学者の退学

区域外就学の児童・生徒がその学校の全課程を修了する前に退学した時は、速やかにその旨を児童・生徒の住所のある市町教育委員会（特別支援学校にあっては、市町教育委員会を經由して都道府県教育委員会）に通知する。

学校教育法施行令
第10, 18条

5 卒 業

卒業とは、児童・生徒等がそれぞれ所定の年限にわたって学校に在学し、所定の全課程を修了することをいう。

卒業により、上級学校の入学資格や各種国家試験等の受験資格が与えられる。

(1) 校長が処理すべき卒業事務

ア 卒業の認定

法令に規定された卒業に関する事項に基づき、学校が定めた全課程の修了の要件を満たすと認めた場合、卒業を認定する。

学校教育法施行規則
第57, 58, 79条

イ 卒業証書授与原簿の作成

市町学校管理規則

ウ 卒業証書の授与

エ 市町教育委員会への卒業生（全課程修了者）の氏名報告

学校教育法施行令
第22条

(2) 就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定試験

学校教育法第 18 条の規定により、病気などやむを得ない事由によって保護者が義務教育諸学校に就学させる義務を猶予又は免除された子等に対して、高等学校入学に関し、中学校を卒業した者と同等以上の学力があるかどうかを認定するために国が行う試験である。合格者には高等学校の入学資格が与えられる。

就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定規則

ア 受験資格

(ア) 就学義務猶予免除者である者又は就学義務猶予免除者であった者で、受験しようとする認定試験の日の属する年度の終わりまでに満 15 歳以上になる者

(イ) 保護者が就学させる義務の猶予又は免除を受けず、かつ、受験しようとする認定試験の日の属する年度の終わりまでに中学校を卒業できないと見込まれることについてやむを得ない事由があると文部科学大臣が認めた者

(ウ) 受験しようとする認定試験の日の属する年度の終わりまでに満 16 歳以上になる者（(ア)及び(イ)に該当する者を除く。）

(エ) 日本の国籍を有しない者で、受験しようとする認定試験の日の属する年度の終わりまでに満 15 歳以上になる者

イ 試験科目

中学校の国語・社会・数学・理科・外国語（英語）

1 回の試験において必ずしも全部の試験科目を受験する必要はない。一部

の試験科目合格者は、次の試験でその科目の受験が免

6 指導要録

児童・生徒の学籍並びに指導の過程及び結果の要約を記録
対する証明等に役立たせるための原簿となるものである。

(1) 作成、送付について

- ア 校長は、その学校に在籍する児童等の指導要録を作成
- イ 校長は、児童等が進学した場合においては、その作成
指導要録の抄本又は写しを作成し、これを進学先の校長
らない。

- ウ 校長は、児童等が転学した場合においては、その作成に係る当該児童等の
指導要録の写しを作成し、その写し（転学してきた児童等については、転学
により送付を受けた指導要録の写しを含む）及びイの抄本又は写しを転学先
の校長に送付しなければならない。

(2) 保存について

- ア 指導要録原本及び転入学の際送付を受けたその写しのうち、学籍に関する
記録（様式1）については、20年間保存する。指導に関する記録（様式2）
については、5年間保存する。
- イ 幼稚園（小学校）から送付を受けた抄本又は写しは、児童・生徒が当該学
校に在学する期間保存すること。
- ウ 児童・生徒の居所が1年以上不明であるときは在学しないものと同様に取り
扱い、その指導要録は別に整理して保存すること。

(3) 保存期間経過後の取扱いについて

指導に関する記録については、保存期間経過後は廃棄するなど、適切な措置が
とられることが望ましい。

【指導要録の記入上の留意点】

(1) 記入の時期

ア 入学時

学校名及び所在地・児童・生徒・保護者・入学前の経歴・編入学等・校長
氏名・学級担任者1名・学級及び整理番号・年度・学籍の記録欄の備考

イ 学年末

校長の押印・学級担任の押印・出欠の記録・各教科の学習の記録・特別活
動の記録・行動の記録・進路に関する記録・総合的な学習の時間の記録・総
合所見及び指導上参考となる諸事項

ウ 卒業時

卒業・進学・就職先

エ その都度

編入学・転入学・転学退学等

6. 指導要録に關して.

「写し」と表現が違う
部分があるので、どちらを
参照していただくかとい
うかと思ひます。

R2.3月
小学校 指導要録記入の写し
(中学校) (後3に添付)

学校教育法施行規則
第28条_2

学年始め
はい、はい？

特別活動・外国語活動
の記録(11)

H31.3.29(文科省)
小学校、中学校、
高等学校及び特別
支援学校等におけ
る児童生徒の学習
評価及び指導要録
の改善等について

(2) 記入方法

ア 入学・編入学等

(7) 入学の場合

- ・児童・生徒が第1学年に入学した年月日を記入する。
- ・この年月日は、市町教育委員会が通知した入学期日を記入する。
(4月1日)
- ・なお、期日に遅れて出校した場合にも、指定の入学期日を記入する。
この場合は、「第〇学年編入学」の文字は二本線で消除する。

(4) 編入学の場合

第1学年の中途又は第2学年以上の学年に、外国にある学校などから編入学した場合又は児童自立支援施設から移った場合など就学義務の猶予・免除の事由の消滅により就学義務が発生した場合の児童・生徒について、その年月日、学年及び事由等を記入する。この場合は、「第1学年入学」の文字は二本線で消除する。

イ 転入学

他の小(中)学校から転校してきた場合についてのみ記入する。転入学年月日、転入学年、前に在学していた学校名、所在地及び転入学の事由等を記入する。

ウ 転学・退学等

(7) 転学の場合

学校を去った年月日(授業を受けた最後の日)を括弧内に、また転学先の学校が受け入れた年月日の前日を下部に記入し、その学校名、所在地、転入学年及びその事由等を記入する。

(4) 退学の場合

外国にある学校などに入るため退学する場合又は学齢を超過している児童・生徒の退学の場合には、校長が退学を認めた年月日を下部に記入し、その事由を併せて記入する。

(4) その他の場合

児童自立支援施設若しくは少年院への入院など就学義務の猶予・免除をする場合又は児童・生徒の居所が1年以上不明である場合は、在学しない者として取り扱い、在学しない者と認めた年月日を括弧内に記入し、その事由を併せて記入する。

エ 卒業

校長が卒業を認定した年月日を記入する。(3月31日)

オ 進学先

(7) 小学校

進学した中学校名及び所在地を記入する。

(4) 中学校

進学した者は、進学した学校名及び所在地を記入する。就職した者は、就職先の事業所名及び所在地を記入する。家事又は家業に従事した者は、

その旨及びその職種を記入する。

カ 備 考

児童・生徒の家庭環境，社会環境等で指導上特に必要な事項及び他の欄に記入できないもので，特に必要な事項を記入すること。

また，生育歴における特記すべき事項もこの欄に記入すること。記入した場合には，その年月日も括弧書きで記入しておくこと。

?
出欠の記録の
備考??

中 学 校 生 徒 指 導 要 録

(石 川 県)

【記入にあたって】

- ① 原則として常用漢字及び現代かなづかいを用いること。
 ② 黒のインクペン又はボールペン書きとすること。
 ③ 追記・訂正等にそなえ、なるべく上部左より記入すること。
 ④ 記入事項に変更があった場合には、その都度記入すること。
 ⑤ 削除等の場合は二本線を引き、前に書いたものも読み取れるようにすること。(ホワイト修正液での訂正はいけない)
 ⑥ 必要に応じ変更、削除等の年月日を括弧内に記入しておくこと。

学年 区分	1	2	3
学 級	A		
整理番号	20		

・学級の通し番号

・原則として学齢簿に基づき記入

学 籍 の 記 録						
生 徒	ふりがな 氏 名	はくい はなこ 羽咋 花子	性 別	女	令和〇年4月1日 第1学年入学 第一学年編入学 ・外国の学校から編入学した場合、その年月日及び事由を記入(この場合「第 学年入学」を二重線で消す)	
		令和〇年〇月〇日生				
保 護 者	現住所	〇〇市〇〇町〇〇番地	転入学 令和 年 月 日 第 学年転入学 ・転入してきた場合、転入学年月日、転入学年、前に在学していた学校名、所在地及び事由等を記入(たとえば保護者転居のため)			
	ふりがな 氏 名	はくい たろう 羽咋 太郎 ・生徒に対し親権を行うもの、いない場合は後見人を記入	転学・退学等 (令和 年 月 日)・学校を去った日 令和 年 月 日・転入先の学校が受け入れた年月日の前日の年月日 ・転学する場合、学校名、所在地、転入学年及び事由を記入 ・外国の学校に入るため退学する場合、校長が退学を認めた年月日及び事由を下記に記入 ・1年以上不明者である場合、在学しないと認めた年月日及び事由を括弧内に記入			
学 校 名 及 び 所 在 地 (分校名・所在地等)	入学前の経歴	〇〇市立〇〇小学校卒業 ・外国において受けた教育の実情などもこの欄に記入	卒業 令和〇年 3月31日 ・校長が卒業を認定した日			
			進学先・就職先等 石川県立〇〇高等学校 石川県〇〇市〇〇町〇〇番地 ・進学した高等学校等名・就職先名及び所在地を記入			
学 校 名 及 び 所 在 地 (分校名・所在地等)	〇〇市立〇〇中学校 石川県〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番地	年度 区分	令和 年度	令和 年度	令和 年度	
			1	2	3	
			校長氏名印	石川太郎 ㊟ (4月~12月) 志雄町子 ㊟ (1月~3月)		
			学級担任者氏名印	押水松子 (4月~10月) 富来容子 ㊟ (11月~3月)	志賀理恵 ㊟	

- ・同一年度内に校長又は学級担任が替わった場合、その都度後任者の氏名を併記する
 ・任用期間を括弧内に記入
 ・学年末又は生徒が転学の際に、記入について責任を有する校長、学級担任が押印する(なお、印は認印を使用のこと)

出 欠 の 記 録

区分 学年	授業日数	出席停止・ 忌引等の日数	出席しなければ ならない日数	欠席日数	出席日数	備 考
1	236	10	226	4	222	
2						
3						

・授業を実施した年間の総日数
(同一学年全生徒同日数である)

・出席しなければならない日数の
うち病気・事故で欠席した日数

・出席停止・忌引・学級閉鎖・非常災害等で
校長が出席しなくてもよいと認めた日数

・出席しなければならない日数から
欠席日数を差し引いた日数
・不登校児童・生徒の適応教室等へ
の通所日数も出席扱いとする

・授業日数から出席停止・忌引等の
日数を差し引いた日数

備考欄記入例等	忌 引 7 (母死亡のため)	病 欠 2 (風邪のため)	臨 休 2 (インフルエンザのため)
	事 故 欠 2 (旅行のため)	出席停止 1 (インフルエンザのため)	
	・石川県教員総合研修センターへ通所 15日		
	・〇〇適応教室へ通学 (出席扱いした日数及び施設名)		
	・出席停止, 忌引等の事由, 欠席事由, 遅刻早退等の状況, 転入学児童の前の学校での出席の概要等を記入する。		
	・忌引日数		
	父母 7日以内 祖父母・兄弟姉妹 3日以内		
	伯(叔)父・伯(叔)母等 1日		

※ 小学校の入学前の経歴の書き方抜粋
「入学前の経歴」の欄

入学前の経歴	令和〇年4月から令和〇年3月まで すみれ幼稚園在園
--------	------------------------------

R2.3 (県教委) 「小学校指導要録記入の手引き」・「中学校指導要録記入の手引き」参照

7 出席簿

出席簿とはその学校に在学する学齢児童又は学齢生徒の出席状況を明らかにする表簿である。

(1) 授業日

小中学校の学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(2) 休業日

公立小中学校における休業日は、次のとおりとする。ただし、ウに掲げる日を除き、特別の必要がある場合は、この限りではない。

ア 国民の祝日に関する法律に規定する日

イ 日曜日及び土曜日

ウ 学校教育法施行令第29条第1項の規定により教育委員会が定める日

(学年始、夏季、冬季、学年末等における休業日及び体験的学習活動等休業日は、各市町の学校管理規則を参照する)

夏季休業期間中における児童・生徒の登校日等は、それが教育課程として実施されたものでない限りは授業日とはみなさないこと。(8月の出席簿は記載しなくても頁を設けること。)

(3) 出席停止

ア 市町教育委員会は、性行不良であつて他の児童・生徒の教育に妨げがあると認める児童・生徒があるときは、その保護者に対して、児童・生徒の出席停止を命ずることができる。その場合は、保護者への聴取と文書での通知をしなくてはならない。

※ 本人に対する懲戒という観点からでなく、学校の秩序を維持し、他の児童・生徒の義務教育を受ける権利を保障するという観点から設けられている。

イ 校長は、感染症にかかっている、その疑いがある、又はかかるおそれのある児童・生徒があるときは、政令で定めるところにより、出席を停止させることができる。

(4) 臨時休業日

ア 非常変災等の臨時休業

非常変災その他急迫の事情があるときは、校長は、臨時に授業を行わないことができる。この場合において、公立小中学校についてはこの旨を教育委員会に報告しなければならない。

イ 感染症予防等の臨時休業

学校の設置者は、感染症の予防上必要があるときは、臨時に学校の全部又は一部の休業を行うことができる。

学校の設置者は、その事務を校長に委任することができる。

(5) 祝日・週休日の振替授業

特別の必要があるときは、祝日・週休日に授業を行うことができる。

校長は、教育上必要があり、かつ、やむを得ない事由によって休業日を授業日とし、授業日を休業日とするときには、あらかじめ、その年月日及び事由につい

学校教育法施行令
第19条

学校教育法施行規則
第25, 59, 79条

学校教育法施行規則
第61条

市町学校管理規則

学校教育法 第35条

市町学校管理規則

学校保健安全法
第19条

学校教育法施行規則
第63条

学校保健安全法
第20条

学校保健安全法
第31条

市町学校管理規則

て教育長の承認を受けなければならない。

(6) 出席扱い

不登校の児童生徒が学校外の施設において相談・指導を受けるとき、一定の要件を満たす場合には指導要録の出欠の記録において出席扱いとすることができる。このとき、「出席日数」の内数として出席扱いとした日数及び児童・生徒が通所又は入所した適応指導教室等の施設名を記入すること。✓ 8/1621

✓ 病院や自宅等で療養中の病気療養児に対しては、同時双方向型授業配信を行った場合、校長は指導要録上出席扱いとすること及びその成果を当該教科等の評価に反映することができる。

R1. 10. 25(文科省)
不登校児童生徒への支援の在り方について

H30. 9. 20(文科省) ✓
小・中学校等における病気療養児に対する同時双方向型授業配信を行った場合の指導要録上の出欠の取扱い等について

出席簿の記入等の留意事項（参考）

- 1 毎月提出し、校長、学籍係欄に検印を受ける。
- 2 8月分も作成する。
- 3 毎月1日現在の児童・生徒数を記入する。
- 4 法定表簿なので、鉛筆で記入しない。
- 5 訂正は二重線で抹消し、訂正印を押す。 消除? 統一あるかい?
- (消しゴムや修正液は使用しない。)
- 6 児童・生徒の転入等があった場合は、氏名ゴム印を押印し該当の欄外にその旨記載する。転入前日まで横線で消しておく。
- 指導要録と月日が一致すること。
- 7 月々の合計（出席日数・欠席・忌引・遅刻・早退等）が0のときは、空欄にしても0を記入してもよい。（ただし学校内で統一しておくほうが望ましい）